

## 2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念は、ホーム名「菜の花」にちなんで『な→なかよく、の→のんびりと、は→ハハハと笑い、な→なんでも一緒に過ごせる』と表現がわかりやすく、とても親しみやすい理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は、玄関、ホール等見やすい場所に掲示している。管理者と職員は、覚えやすく、親しみやすい理念を念頭に日々のケアに取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	現在地域の自治会に加入はしていないが、隣接する併設機関と合同で、夏祭りや運動会等の行事を開催して、地元の人々と交流するように努めている。また、野菜畑を通して近隣住民との交流も図っている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価の項目一つ一つを全職員で点検する時間を設ける等、しっかりと評価を行う意義を理解して更なるサービスの質の向上に向けて取り組んでいる。	○	ホーム内だけの改善点は、積極的に取り組む姿勢がみられる。それ以外の部分で地域との交流やホームの運営方法について、運営者、管理者、職員が更なる質の向上のために意見交換ができる体制作りを期待したい。

宮崎県都城市高城町 グループホーム菜の花

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に会議を開催して、会議の中で出たアイデアやサービスについては、早速取り入れて行事を組み実施している。	○	家族の参加者はあまり発言されない状況がある。会議のメンバーからいかに多くの率直な意見を引き出して、改善にむけた具体的な取り組みにつなげられるかが重要であるので、今後の会議の運営に期待したい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホームと市担当者と運営推進会議以外での行き来はない状況であるが、母体法人の事務部と市担当との連携は図っている。	○	事業所の実情やケアサービスの取り組みを折りに触れ市担当者へ伝え続けていくように望みたい。
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時、できる限り利用者の状況報告を写真を用いたりしながら行っている。定期的にホーム便りを発行し、便りの中にコメント欄を作り、個々の近況を担当職員が記入して送付している。金銭管理については、月に1度領収書を添えて報告して出納帳にサイン及び印鑑をもらっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の代表者が運営推進会議に参加したり、今年度より、介護相談員の訪問受け入れを始めたりして、外部者へ意見等を伝える機会を設けている。	○	今後も利用者、家族が外部の人に意見・苦情を表せる機会や場がある事を繰り返し説明して、さまざまな意見を日ごろのサービスや運営に反映されるように期待したい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者がなじみの管理者や職員による支援を受けられるように配慮しているが、離職者があつた場合は必要に応じて柔軟に対応している。利用者へのダメージを最小限に留めるように他の職員がフォローしたりしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員を段階に応じて育成するために年間計画をたて、法人外の研修を受ける機会を確保している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム研修会に必ず職員2名は参加して学習会や意見交換を行っている。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居に至る理由の中で、家族の介護疲れによる緊急性を要する場合が多い。そのため本人の納得が難しいまま入居になるケースが多く、なじみながらのサービスは実施していない。	○	今後、緊急性がある入居であっても、できる限り本人が納得した上でサービスが開始されるような体制作りを望みたい。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	時には職員が子供、孫のような関係で共に洗濯物を干したり、ソファでゆっくりおしゃべりしたりしている。漬物作りや野菜作りは、畑の野菜の収穫時期、手段などを本人から学んだりしながら一緒に作業している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	散歩好きな方が中庭等可能な限り自由に過ごせるように見守っている。日々のかかわりの中で声をかけ把握に努めているが、一人ひとりの思い・希望・意向を十分にくみ取った対応が不十分な面がある。	○	今後家族の協力も得ながら、本人の思い・希望・意向を十分にくみ取った対応ができるように取り組まれる事を望みたい。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者一人ひとりの具体的な介護計画が立てられている。できる限り本人、家族の意向を取り入れようとする姿勢がみられる。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3か月ごとに介護計画の見直しを行い、状態変化時には随時見直しを行っている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、家族の状況により、その時々々の要望にできる限り応じて支援をしようとする姿勢がみられる。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	緊急時の対応を考え、隣接する母体法人のクリニックを本人、家族の同意を得てかかりつけ医としている。また、心身の状態に応じて専門医の受診も継続できるように支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	まずは入居時に、本人や家族等との話し合い、その後も状況に応じて話し合い、方針を共有している。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	接遇にも気を配り、個人の尊厳を重視した言葉かけや対応をするように心がけている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースを尊重した対応を心がけ、テレビの視聴や服装の選択等、自己決定できるように支援をしている。		

宮崎県都城市高城町 グループホーム菜の花

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ホーム内で作った漬物や梅干等が食卓に用意されている。朝食はホーム内で作り、配膳しているが、昼食、夕食は隣接する老人保健施設で準備された物を配膳している。時々おやつ等を利用者と一緒に作る機会を設けている。	○	朝食、夕食は職員も一緒に食事を楽しむ取り組みをされているが、昼食は、介助や後片づけ等があり、なかなか利用者と一緒に食事を楽しむ事が難しい状況がある。今後検討課題として取り組まれる事を期待したい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者一人ひとりの健康状態を確認した上でくつろいだ入浴ができるように支援している。利用者の中には、希望により毎日入浴される方もいる。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	菜園作業、食器洗い、洗濯物干し・たたみ、室内清掃等日常生活の中に一人ひとりの楽しみや役割、出番を作り出す取り組みをしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣への散歩や併設施設の行事や催しには積極的に参加できるように支援している。	○	本人の意向に沿った外出が難しい状況にあるが、家族や地域住民等の協力を得ながら、できる限り利用者本位の外出支援をしていけるような体制作りを望みたい。
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームは交通量の多い国道沿いに立地しているため、玄関側は安全面を考慮して施錠がしてある。中庭側は、鍵をかけず自由に外を散歩できるようにしている。		

宮崎県都城市高城町 グループホーム菜の花

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成して、年2回利用者と共に避難訓練を行っている。隣接する母体法人施設職員との連携も図っているが、地域の人々の協力は働きかけていない。	○	職員だけの誘導の限界を踏まえて、やはり地域の人々への協力体制の整備に取り組まれる事を望みたい。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの食べる量を職員全員が把握している。いつも急須にはお茶が用意しており自由に飲めるようになっている。夜間には希望に応じて焼酎、サイダー等の提供をしている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者にとって不快な音や光がないように配慮している。換気も十分に行われていた。台所に漬物瓶が置かれていたり、七夕飾りや作品が展示されたり季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫がされていた。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者一人ひとりに合わせた生活空間になるように、使い慣れた生活用品や仏壇、遺影等が持ち込まれて、その人らしく安心して過ごせる場となるような工夫がされていた。		

※  は、重点項目。